

## 平成24年度「学校保健課題解決支援事業」 埼玉県における学校での運動器検診について

\*\*\*\*\*

医療法人社団天徳会北本整形外科

柴田 輝明

近年、日本の社会環境は大きく変化し都市化、少子高齢化、子どもの外遊びの環境もなく、屋内でのゲーム遊びを含め情報化社会、食生活の変化、小児肥満の増加等の生活環境の急激な変化は、子どもの心身の健康に大きな影響を与えている。

学校生活においても生活習慣の乱れ、いじめ、不登校、児童虐待などのメンタルヘルスに関する問題、アレルギー疾患、性の問題行動、薬物乱用、感染症など、新たな課題が山積みしている。

児童・生徒の運動器疾患・障害や運動器機能不全の実態調査とその予防と治療のため、埼玉県では、平成19年度より学校保健の定期健康診断に運動器検診の導入を計画し、就学時児童からモデル事業としてこの検診事業を実施した。

平成19年度から、平成23年度までの運動器検診の実施の結果より、児童生徒の運動器疾患・障害、運動器機能不全の実態とその対策の集大成として、平成24年度に「学校保健課題解決支援事業」として埼玉県鴻巣市にて「運動器検診」の課題を中心にこの事業を行ったので、報告をする。

主催は埼玉県教育委員会、モデル地域は鴻巣市境域委員会である。

- ・拠点地域は鴻巣市赤見台第二小学校、鴻巣市赤見台中学校
- ・テーマ「埼玉県における学校での運動器検診について」
- ・参加者 該当河野校長、教諭、保護者、市内小中学校の保健主事、養護教諭
- ・日 時 平成24年12月5日(水) 15:30～16:30
- ・会 場 鴻巣市箕田公民館

### 学校保健支援班

北本整形外科 柴田輝明 医師  
行田市立太田中学校 廣田浩美 養護教諭  
鴻巣教育委員会 松本壽章 指導主事

鴻巣市では、平成19年より就学時児童を対象に平成24年度まで「運動器検診」を実施した。

これにより、児童の運動器疾患・障害や運動器機能不全に着目し、けがや傷害の予防対策を講じる事により運動器健康教育の充実を図る。

平成24年度は学校保健課題解決支援事業の趣旨の元に、学校保健支援班の協力を得て、これまでの知見や実践結果を地域単位の学校に啓発をした。